

審 査 基 準

【必須項目の審査】

- ・「1点」を標準とし、優れているものには加点。各項目とも3点満点。
- ・標準に満たない場合は0点。意見聴取した外部有識者の過半数が0点を付けた審査内容がある場合は、評価の低かった項目及び点数を伝達し、事業計画書を再提出させ、再度評価

選定基準	審査項目	審査内容	配点		確認書類等
事業計画書の内容が県民の平等な利用を確保することができるものであるか (指定手続条例第3条第1号)	施設の設置目的及び県が示した管理運営の方針	1 施設の設置目的を理解しているか。センターの見直しに対する考え方は適切に説明されているか。	3	9	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 1, 5, 22 ・事業報告書 ・法人役員名簿
		2 これまでの見直しの進展から、本施設を良好に管理運営できる可能性はあるか。	3		
		3 経営理念やコンプライアンスの取組等、団体の経営モラルは適切か。	3		
	平等な利用を図るための具体的な手法及び期待される効果	4 事業内容が一部の県民、利用者に対して不当に利用を制限又は優遇するものではないか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 1, 5 ・事業報告書
個人情報の取扱は適正か	個人情報保護の取組	5 個人情報保護のための適切な措置がとられているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 17 ・事業報告書
小 計			1 5		

【一般項目の審査】

- ・配点が「3点」の場合は「2点」を標準とし、優れているものには加点、標準に満たないものには1点
- ・配点が「5点」の場合は「3点」を標準とし、優れているものには加点、標準に満たないものには減点
- ・配点が「10点」の場合は「5点」を標準とし、優れているものには加点、標準に満たないものには減点

事業計画書の内容が、当該公の施設の効用を最大限に効果的に効率的に発揮させるものであるか (指定手続条例第3条第2号)	事業運営の見通しと関係機関等との連携の考え方	6 定員の半減という目標の達成に向けた利用児者の地域移行等への取組に関する基本的な考え方は適切か。具体的計画は立てられているか。	5	23	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 5, 7, 9, 21
		7 保護者との連携に関する基本的な考え方は適切か。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 7, 9, 21 ・事業報告書
		8 特別支援学校等、児童相談所、市町村、医療機関、関係機関との連携に関する基本的な考え方は適切か。	5		
		9 県内の障害者支援施設、グループホーム、相談支援事業所等との連携に関する基本的な考え方は適切か。	5		
		10 代宿地域支援センター・アドバンスながうら等他法人に譲渡する事業を含め、地域で生活する障害者に対する支援に関する考え方は適切か。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 12 ・事業報告書

利用者の権利擁護と安全確保に関する取組	11 利用者の権利擁護に関する基本的な考え方は適切か。具体的計画（研修、虐待防止体制）は立てられているか。	5	28	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 14, 15 ・事業報告書
	12 苦情解決の体制、苦情解決第三者委員との連携に係る具体的計画は立てられているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 17 ・事業報告書
	13 福祉サービス第三者評価機関による評価の活用を計画しているか。	3		
	14 職員間の情報共有や、上司への連絡・報告が適切に行われる計画となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 5, 16, 17 ・事業報告書
	15 事故防止、ヒヤリハット対策等の体制に係る計画は適切に立てられているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 16 ・事業報告書
	16 感染症対策、防災等危機管理の体制に係る計画は適切に立てられているか。	5		
利用者サービスの向上を図るための具体的手段及び期待される効果	17 個別支援計画の立案・実施の体制に係る計画は適切に立てられているか。	3	28	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 6 ・事業報告書
	18 利用者の意思決定の支援に関する基本的な考え方は適切か。利用者の関心や好みを汲み取り支援に反映させるための具体的計画は立てられているか。	3		
	19 児童の療育に関する基本的な考え方は適切か。児童の発育を促すものとなっているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 6, 10 ・事業報告書
	20 強度行動障害児や心理的ケアを要する被虐待児等、児童の特性・ニーズに応じた支援を行うための計画は適切に立てられているか。	5		
	21 施設入所支援について、入浴・排泄・食事等の支援内容は、利用者の生活の質を高めるためのものとなっているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 6, 8 ・事業報告書
	22 生活介護事業について、入浴・排泄・食事、日中活動等の支援内容は、利用者の生活の質を高めるためのものとなっているか。	3		
	23 強度行動障害者、医療的ケアを要する障害者、認知症を発症した高齢障害者等、利用者の特性・ニーズに応じた支援を行うための計画は適切に立てられているか。	5		
	24 センター利用者の健康管理や地域で生活する障害児者への医療提供や医療相談等を行うための計画は適切に立てられているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 11 ・事業報告書

事業計画書に沿った管理を安定して行うために必要な能力（人員、財政的基盤等）を有しているか （指定手続条例第3条第3号）	施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性	25 施設の維持管理、安全管理に関する基本的な考え方は適切か。	3	9	・事業計画書 16, 20
		26 過去の監査等の指摘に対する対応は適切に行われているか。	3		・事業計画書 1, 5, 15 ・事業報告書
		27 管理者による内部統制が適切に行われる体制となっているか。	3		・事業計画書 5, 13
	収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	28 収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか。	3	6	・事業計画書 3, 13
		29 収支計画の実現性はあるか。	3		
	安定的な運営が可能となる人材状況	30 職員体制及び職員配置の考え方は適切か。	5	13	・事業計画書 4
		31 職員採用及び職員確保の考え方は適切か。	3		
		32 職員の指導育成、研修体制は十分か。具体的計画は立てられているか。	5		・事業計画書 18, 19
	安定的な運営が可能となる財政的基盤	33 法人の財務状況は健全か。	3	3	・事業計画書 2 ・貸借対照表 ・事業活動計算書 ・資金収支計算書
その他	提案全般からの事業運営の妥当性	34 提案全般を通じ、総合的観点から判断した総合評価によるセンターの見直しをすすめるための事業運営の妥当性はどうか。	10	10	・事業計画書 ・事業報告書 ・法人役員名簿 ・貸借対照表 ・事業活動計算書 ・資金収支計算書
小 計			120		
合 計			135		

※過半数の外部有識者の評価した総合得点が標準点合計79点（標準点1点×5項目、標準点2点×15項目、標準点3点×13項目、標準点5点×1項目）に満たない場合は、評価の低かった項目及び点数を伝達し、事業計画書を再提出させ、再度評価を行う。